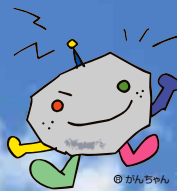




岩手大学 2017年度



シニアカレッジ

IWATE UNIVERSITY SENIOR COLLEGE 2017

イーハトーヴの学舎 — 糠部郡 二戸



馬仙峡



岩谷観音堂

九戸城跡



戦国
大名
九戸政実

2017年
9月13日水~19日火

- 主催 国立大学法人 岩手大学
- 共催 盛岡市、二戸市、八幡平市
- 企画協力 安比塗漆器工房、九戸城ボランティアガイドの会
- 後援 岩手県、公益財団法人岩手県観光協会、
公益財団法人盛岡観光コンベンション協会、
一般社団法人八幡平市観光協会、二戸市観光協会

岩手大学 シニアカレッジ2017



岩手大学シニアカレッジは、岩手大学と岩手県内の自治体や各地域の方々が連携して実施する滞在型生涯学習プログラムです。「学びたい」という動機があれば、どなたでも参加できます。年齢制限や入学試験はありません。

大学構内の専用教室での講義やフィールドワークなどを通じて、受講生同士の交流、地元、学生たちとの出会いの場ともなります。豊富に経験を積まれたこの時こそ、学べる、学び直せるという楽しみを存分に味わってみませんか。

岩手大学シニアカレッジの特徴

岩手大学は、皆様の向学心にお応えする滞在型生涯学習事業として、岩手大学シニアカレッジを開催してきました。今年は、皆様方からの熱いご声援のもと2007年の開講から11回目を迎えます。

今回の舞台は、岩手県の北部に位置する二戸市です。かつて、二戸市を含む岩手県北部から青森県東部にかけて糠部(ぬかのぶ)郡が置かれていました。建郡の時期はわかっていませんが、藤原清衡(奥州藤原氏)時代という説もあります。

糠部郡は、「九ヶ部四門の制(くかのぶしかどのせい)」という制度により、一から九までの「戸」に別け、四つの辺地を東門、西門、南門、北門と呼んだとされています。

「戸」は「牧場」の意味もあったとされ、名馬の産地でもあり、「糠部の駿馬」として重宝されました。

二戸市は、馬淵(まべち)川などの河川の浸食によって構成された河岸段丘のまちであることがはっきりとわかる地で、太古には、二戸がマングローブ湿地であったことを裏付ける貝類の化石も発見されています。

シニアカレッジ2017では、大学での授業に加え、二戸地を実際に訪れ、多くの魅力に触れていただきたいと思います。

今回は、特にこれまでとは違った岩手の魅力に触れられ、皆様の向学心をきっと満足していただけるものと確信しております。「イーハトーヴの学舎 岩手大学キャンパス」で皆様をお待ちしております。

お申し込みから受講まで

- 岩手大学シニアカレッジ事務局へご連絡ください。参加申込書をお送りいたします。
- 参加申込書に必要な事項をご記入の上、岩手大学シニアカレッジ事務局宛に申込書を郵送かFAXしてください。
- ※ 参加申込書到着後、シニアカレッジ事務局から開講までのご案内書をお送りします。申し込み後、10日経っても案内書が届かない場合には、お手数ですが電話連絡をお願いします。
- ※ 先着順に受付します。定員になり次第申し込みを締め切ります。
- 受講料 70,000円(税込・1泊1食込)
 - ※ この事業は、国立大学法人岩手大学の収益事業ではありません。
 - 受講料に含まれるもの
全12講義受講料、入学式、オリエンテーション、学内施設利用、移動バス料金、学外施設入館料、体験料、卒業式
 - ※ 9/17(日)の二戸市での宿泊費(1泊1食(朝食))が含まれます。
 - 受講料に含まれないもの
上記以外の宿泊・滞在費、ご自宅～岩手大学～ご自宅までの交通費



■ 特別補償

本学は、シニアカレッジ期間中について、国内旅行傷害保険に加入します。お客様がシニアカレッジ参加中に急激かつ偶発的な外来の事故により、その身体または手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲内において、補償金が保険会社から支払われます。

・死亡後遺障害 1,000万円 ・入院保険金日額 7,200円 ・通院保険金 5,000円 ・携行品損害 15万円(限度額 免責3,000円)

● 国内旅行保険への加入について

お客様が事故に遭われた場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難である場合があります。このことから、お客様ご自身で十分な額の国内旅行保険に加入されることをお勧めします。

岩手大学キャンパスのご案内



岩手大学情報メディアセンター図書館
二階の専用教室が通常の講義会場となります。



岩手大学正門




農業教育資料館
旧盛岡高等農林学校時代の本館です。


岩手大学へのアクセス

- バス(盛岡駅前バスターミナル11番のりば)
 - 岩手県交通バス 駅上田線
乗車…「松園バスターミナル行き」 下車…「岩手大学前」
 - 岩手県交通バス 駅桜台団地線
乗車…「桜台団地行き」 下車…「岩手大学前」
- タクシー利用 盛岡駅から約2km 約10分
- 徒歩 盛岡駅から約30分






安比塗漆器工房
安比塗漆器工房が立地する八幡平市安代地区は、豊富な漆の産地という恵まれた条件を生かし、昔から漆器生産が盛んでした。工房ではこの伝統を受け継ぎ、「安比塗」として、丈夫で日常使いできる上質な漆器を作り続け、出来上がった作品を展示販売しています。工房は、女性の漆職人5人で構成する安比塗企業組合が運営し、女性ならではの視点を生かし、使った人が「うふふ」と楽しくなるような漆器を目指しています。



馬仙峡
二戸市一帯はかつて海底にあり、今から約350万年ほど前に隆起して陸地となりました。その後、馬淵川などの浸食により、固い岩の部分だけが残り現在のような形になっています。大きな岩が二つ(男神岩と女神岩)あったことから、左右山と呼ばれていたそうですが、山梨県にある昇仙峡に風景が似ていることから、馬淵川の「馬」を冠して馬仙峡に命名されたそうです。



九戸城ボランティアガイドの会
2002年の東北新幹線二戸駅の開業と時期を同じくして、同年10月に市民有志でボランティアガイドの会が設立されました。今年からは新人2名も加わり、総勢15名で九戸城のガイドを無料でを行っています。九戸城ばかりではなく、二戸地域の歴史も織り交ぜながらコースや解説内容に工夫を凝らしています。秀吉による天下統一の最後の戦場となった九戸城、なぜ、ここまで市民から愛されてきたのか、十分にお楽しみいただければと思っています。

スケジュールと 講義内容



| スケジュール | 8:00 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 | | | |
|--------------|-------------------------------|--|------------------|---|---|---|-----------------|------------------|-------|-------|-------|--------------------------------|-----------|---------------------------------|---------|
| 1 9/13(水) | | | | | | | | | 受付 | 入学式 | 休憩 | 講義1 岩手大学が目指すもの 岩手大学長 岩淵明 | オリエンテーション | おでんせパーティー (Restaurant Kenji) | ～19:30 |
| 2 14(木) | | 講義2 平成28年台風10号による土砂災害について 岩手大学理工学部 准教授 大河原正文 | 休憩 | 講義3 啄木は小説より奇なり～小説は僕自身の告白だ～ 啄木ソムリエ 山本玲子氏 | 昼休み | 講義4 秀吉の天下統一と九戸政実 岩手大学教育学部 教授 菅野文夫 | | | | | | | | | 放課:自由時間 |
| 3 15(金) | | 講義5 地域とスポーツの現状 岩手大学人文社会科学部 教授 浅沼道成 | 休憩 | 講義6 宮沢賢治の「雨ニモマケズ」と井伏鱒二の「黒い雨」の中の「雨ニモマケズ」 岩手大学教育学部 准教授 田中成行 | 昼休み | 講義7 漁業と寄り添う実学としての水産学再生～盛岡高等農林学校から三陸沿岸復興へ 岩手大学農学部 准教授 石村学志 | | | | | | | | | 放課:自由時間 |
| 4 16(土) | 終日自由行動 (盛岡秋祭り 3日目 八幡宮・流鏝馬) | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 17(日) | 移動 (八幡平市安代町へ) | 講義8 安比の伝統工芸 安比塗りを体験する 安比塗漆器工房 代表理事 工藤理沙氏 | 昼食 (新安比温泉静流閣) | 移動 (二戸市へ) | 講義9 河岸段丘のまち二戸をブラブラ歩く 奥州市立広瀬小学校 副校長 平 幸氏 | 移動 (ホテルへ) | チェックイン 休憩 | 夕食・懇親会 ～20:00 | | | | | | | |
| 6 18(月祝) | | 講義10 二戸の偉人「北辺防備の相馬大作」と「日本の物理学の父田中館愛橋」 二戸市立歴史民俗資料館 館長 菅原孝平氏 | 移動 | 昼食 (四季の里) | 移動 (二戸市へ) | 講義11 秀吉の天下統一最後の戦場 九戸城跡を巡る 九戸城ボランティアガイドの会 代表 小原尋子氏 | 移動 (二戸市～盛岡市) | | | | | | | | 放課:自由時間 |
| 7 19(火) | | 講義12 政策って何だ? 一地域の活性化を考える最初の一步 岩手大学 理事 副学長 丸山仁 | 休憩 | 卒業式 | 休憩 移動 | どんとはれパーティー (Restaurant Kenji) | | | | | | | | | |

- 講義8～講義11は、全て学外会場となります。
- 9/17(日)は、八幡平市、二戸市へと移動し、その日は二戸市内に宿泊となります。その際の宿泊料(朝食込み)は、受講料に含まれています。
- 学外会場への移動バス料金は、受講料に含まれています。

講義1

岩手大学が目指すもの

岩手大学長 岩淵明

岩手大学は、これまでの活動、歴史、実績などの強みを活かして、これまで以上に特徴ある大学に進む必要があると考えています。その大きな柱として「グローバルな大学の構築」や「復興活動の継続」、「大学のアイデンティティの確立」を挙げました。グローバルとはグローバルとローカルの組み合わせですが、地域の諸課題を視野に入れて、地域を先導する大学として活動します。

講義2

平成28年台風第10号による土砂災害について

岩手大学理工学部 准教授 大河原 正文

平成28年8月30日、大船渡市付近に上陸した台風10号は多くの河川氾濫、土砂災害を引き起こし、とくに岩手県内の岩泉町や久慈市、宮古市に甚大な被害をもたらしました。死者・行方不明者23名、住宅地全壊484棟、半壊2305棟、床上浸水104棟、床下浸水1364棟であり被害総額は1440億円に上りました。講義では、台風襲来時の降雨状況、土石流等土砂災害の発生状況、土砂災害危険度の発表、土石流危険渓流の発生率など、土砂災害に関する調査結果について述べたいと思います。

講義3

啄木は小説より奇なり～小説は僕自身の告白だ～

啄木ソムリエ 山本 玲子氏

石川啄木は早く歌を捨てて小説を書きたいと願っていました。実際、十五編の小説を残していますが、残念ながら短歌ほど親しまれていません。そこで今回は啄木の小説の味わい方を啄木ソムリエが紹介します。さらに私小説とも言える「ローマ字日記」から啄木の生き方そのものが小説よりも奇であること、そしてこれら啄木の作品には、共通して愛(かな)しい人間の姿が描かれていることを読み解いてゆきます。

講義4

秀吉の天下統一と九戸政実

岩手大学教育学部 教授 菅野 文夫

豊臣秀吉は天正18(1590)年に小田原北条氏を滅ぼし、直後に奥羽に行軍し、北方の大名を屈服させ、北海道南部までも支配下に組み込みます。奥羽仕置と呼ばれる事件です。大名は領地を奪われた大名もあり、検知と刀狩り強行されるなど、北方の地域社会は根こそぎ変えられます。これへの抵抗が各地で起こりますが、その最大にして最後のものが岩手・青森県地域で起きた九戸一揆でした。蒲生氏郷、井伊直政なども参加した一揆鎮圧の様相をとりあげます。

講義5

地域とスポーツの現状

岩手大学人文社会科学部 教授 浅沼 道成

国は2010年にスポーツ立国戦略を発表し、その後、スポーツ基本法(2011年)、スポーツ基本計画(2012年)を策定してきました。その方向は、戦略的にスポーツを使って地域社会の活性化や地域住民の健康増進に向けられています。最近では、日常生活におけるスポーツ活動の基盤としての総合型地域スポーツクラブの育成やスポーツ・ツーリズム政策による交流人口の拡大など地域とスポーツの密接な関係が見られます。講義では、住民の方々と地域スポーツの関わりについてお話します。

講義6

宮沢賢治の「雨ニモマケズ」と井伏鱒二の『黒い雨』の中の「雨ニモマケズ」

岩手大学教育学部 准教授 田中 成行

我々が普通に目にする「雨ニモマケズ」と、宮沢賢治の『雨ニモマケズ手帳』に実際に書かれていた「雨ニモマケズ」の表現の一部が違います。何がどのように違うのか、また違うと意味はどう変わるのか、そして何故違うのかを皆さんと共に考えてみたいと思います。さらに原爆小説として世界中の人々に読まれている井伏鱒二作『黒い雨』の中に「雨ニモマケズ」がどのような形で引用されているのかを読み取り、世界文学の中の意義を共に追究したいと思います。また、発展として、賢治作の童話『度十(けんじゅう)公園林』を世界文学として読み、七百本の理想の杉林再現を呼びかけたいです。

講義7

漁業と寄り添う実学としての水産学再生～盛岡高等農林学校から三陸沿岸復興へ

岩手大学農学部 准教授 石村 学志

2011年の東日本大震災は、三陸沿岸、そして、福島に壊滅的な被害を与えました。震災から6年が経ちましたが、未だに被災地は復興の途中にあります。この講義では、まず、様々な問題を抱えながら、水産資源の特殊性と日本の現状を踏まえながら、どうして水産学が三陸沿岸や福島に、そして、この国に必要なのか、を問います。その答えを起点として、この岩手大学に水産が新設されたことの必然性と、漁業と寄り添う実学へと回帰する新しい水産学のあり方を議論します。

講義8

安比の伝統工芸 安比塗りを体験する

安比塗漆器工房 代表理事 工藤 理沙氏

「安比塗」の伝統を体験してみましょう。このプログラムでは、この地に昔から伝わる漆器「安比塗」の絵付け体験を行います。拭き漆を施した木目の美しいデザート皿に、漆でお好きな絵を付けていただきます。皆さんが作るデザート皿は、この世に1つしかないオンリーワンの作品となり、今後の皆さんの食卓に素敵な色を添えてくれるでしょう。ぜひこの機会に「うふふ」と楽しくなるような漆文化に触れていただきたいと思います。

講義9

河岸段丘のまち二戸をブラブラ歩く

奥州市立広瀬小学校 副校長 平 幸氏

二戸市の市街地は、南北に流れる馬淵(まべち)川などによって形成された河岸段丘の段丘面に造られています。市内から、段丘崖を間近で見ることができ、段丘崖に造られた岩谷観音にも歩いて行くことができます。河岸段丘のまちをあちこちブラブラ歩きながら、二戸の地勢を満喫しましょう。

講義10

二戸の偉人「北辺防備の相馬大作」と「日本の物理学の父田中館愛橋」

二戸市立歴史民俗資料館 館長 菅原 孝平氏

昨年、二戸文士劇で話題となった相馬大作は巷間「みちのく忠臣蔵」とれ、江戸後期の日本史に名を残し、歌舞伎・講談・浪曲・映画などで一世を風靡した浪人です。しかし、大作のライフワークは、北辺防備、つまり蝦夷地防備にありました。田中館愛橋は、岩手県人初の文化勲章受章者で「異本物理学の父」です。愛橋は、東大一期生で東大生え抜きの物理学教授。メートル法やローマ字の父としても知られています。

講義11

秀吉の天下統一最後の戦場 九戸城跡を巡る

九戸城ボランティアガイドの会 代表 小原 尋子氏

九戸城は、河岸段丘の段丘崖と三方の川とに囲まれた天然の要害とも言える中世の平山城で、明応年間(1492～1501年)の築城と考えられています。秀吉の奥州仕置により落城した後は、蒲生氏郷により再普請されたことにより、自然地形が活かされた城輪軸、矩形・直線の曲輪と2つの時代の城郭を見ることができます。当日は、ゆっくりと城内を巡り、自然と時代に親しみたいと思います。

講義12

政策って何だ? 一地域の活性化を考える最初の一步

岩手大学 理事・副学長 丸山 仁

「人口減」、「地方消滅」、「地方創生」…。ニュースでこうした言葉を見聞きすることが増えました。わが町の将来が心配!という人も多いでしょう。ではどうすればいいのか?地域政策の出番だ!ということになりそうですが、そもそも「政策」とは何でしょう?分かっているようで、よく分からない。この講義では、そういう皆さんの声に答えます。同時に地域活性化への道筋を探りましょう。キーワードは「あるもの探し」。

お申し込み・お問い合わせは

国立大学法人 **岩手大学**

岩手大学シニアカレッジ事務局

(岩手大学三陸復興・地域創生推進機構内)

〒020-8551 岩手県盛岡市上田四丁目3番5号
TEL.019-621-6492、6852 FAX.019-621-6493
E-mail renkei@iwate-u.ac.jp**【募集要項】**

- ①募集人員 30名
 ②最少実施人員 25名
 ③開催期間 2017年(平成29年)9月13日(水)～9月19日(火)
 ④開催場所 岩手大学(盛岡市上田三丁目18番8号)
 ⑤参加資格 学習意欲をお持ちの方(年齢制限、入学試験ともありません)
 ⑥受講料 70,000円(消費税込み、1泊1食(朝食)込み)
 ※この事業は、国立大学法人岩手大学の収益事業ではありません。
- ⑦受講料に含まれるもの
 全12義受講料、入学式、オリエンテーション、学内施設利用、移動バス料金、学外施設入館料、卒業式
 ※9/17(日)の二戸市内の宿泊費(1泊1食(朝食))が含まれます。
- ⑧受講料に含まれないもの
 上記以外の宿泊・滞在費、ご自宅～岩手大学～ご自宅までの交通費
- ⑨お申し込み方法
 岩手大学シニアカレッジ事務局へご連絡ください。事務局より参加申込書をお送りします。
 その申込書に必要事項をご記入の上、郵送かFAXしてください。
- ⑩中 止
 申し込みが最少実施人員に達しない場合は、シニアカレッジを中止することがあります。
 中止の決定は、シニアカレッジ開催日の30日前に行い、シニアカレッジ事務局から皆様ご連絡差し上げます。
- ⑪学外講義
 八幡平市・二戸市で行う学外講義については、岩手県北自動車(株)への業務委託として実施します。

【個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は、国立大学法人岩手大学によるシニアカレッジ関係の各種案内、大学情報、旅行・観光情報やその他の生活関連情報をご提供するために使わせていただきます。それらの目的以外に使用する場合には、事前にお客様に通知して同意をいただきます。
 また、ご提供いただいた個人情報は慎重に管理し、紛失、漏洩等を防止するために、完全管理を講じています。

【受講のご案内】**■シニアカレッジ申し込み方法**

- シニアカレッジ事務局へ申込書を郵送又はFAXしてください。申込書到着後、シニアカレッジ事務局より「岩手大学シニアカレッジのお手続きについて」をお送りします。お申し込み後、10日たっても案内書が届かない場合には、お手数ですがお電話ください。

■シニアカレッジ申込上の注意

- 受講のお申し込み受付は、先着順とさせていただきます。
- お支払い方法は、原則として銀行振り込みとなります。
- 受講料振込の際の手数料は、お客様の負担となります。
- 受講料のお支払いは、請求書をお受け取り後、1週間以内にお願ひいたします。
- 受講料は、すべて消費税を含む料金です。

■キャンセル

- キャンセルの場合は、電話でご連絡ください。シニアカレッジ開始日以降のキャンセルによる受講料の返金はいたしません。
 ※Eメールでのキャンセルの受付は一切いたしませんのでご注意ください。
- キャンセルの場合には、規定の取消料及び返金手数料(振込手数料)を差し引いてご返金します。

■シニアカレッジの変更

- 講師の緊急の都合等による場合、中止・延期・時間変更・時間短縮・別の講師の代替えとなる場合がありますので、予めご了承ください。

■その他

- 大学キャンパス内では、全面禁煙となっております。
- 貴重品は必ずお手元におき、盗難・紛失にはご注意ください。